平成２６年度

# 帯広市文化賞

平成２６年１１月３日

帯広市教育委員会

# 帯 広 市 文 化 賞 受 賞 者

## 佐々木　豊子（77歳）

## （稀音家　六豊華）

《受賞理由》

氏は、幼少より長唄三味線の分野で活躍され、昭和21年に長唄華精会に入門されて以来、意欲的な活動により帯広市の長唄三味線の発展に貢献されました。

昭和60年には長唄華精会 会主となられ、これまでに数多くの門下生を育て、後進の指導育成に努めてこられました。

また、学校を訪問しての邦楽教室の開催や、洋楽・洋舞との協演を行い新しい音楽の世界を切り拓くなど、邦楽愛好者の増加に尽力してこられました。

この様な氏の永年にわたる活動は、地域文化の向上発展に大きく寄与するものであることから、帯広市文化賞を贈り顕彰するものであります。

《略　歴》

| | |
|---|---|
| 昭和２１年 | 長唄華精会 稀音家六三華門下となる |
| 昭和３０年 | 家元 稀音家六四郎より名取名 稀音家六豊華を許される |
| 昭和６０年 | 長唄華精会の二代目会主となる |
| 昭和６２年 | 帯広邦楽邦舞協会 常任理事 |
| 平成　６年 | 帯広邦楽邦舞協会 副会長 |
| 平成　７年 | 帯広市文化奨励賞受賞 |
| 平成２１年 | 社団法人長唄協会から永年表彰 |
| | 帯広市民劇場賞受賞 |

# 帯 広 市 文 化 賞 受 賞 者

## 長谷部　芳子（89歳）
（中山　義嘉）

《受賞理由》

氏は、幼少より舞踊の修得に努め、昭和36年より初代中山流家元中山義夫師に出会い師事し、舞踊一筋に研鑽を積み、昭和40年に中山民俗舞踊北海道支部を立ち上げて以来、後進の育成に努められ、多くの指導者を輩出してこられました。

また、ソーラン節・花笠音頭・十勝小唄など日本各地の古来の民謡舞踊を伝承するとともに、子供からお年寄り、外国の方々など世界中の誰もが楽しく優しく踊れる舞踊の普及に尽力してこられました。

この様な氏の永年にわたる活動は、地域文化の向上発展に大きく寄与するものであることから、帯広市文化賞を贈り顕彰するものであります。

《略　歴》

| | |
|---|---|
| 昭和４０年 | 中山民俗舞踊北海道支部を立ち上げる |
| 昭和４９年 | 日本ビクター民踊研究会 功労賞受賞 |
| 昭和５０年 | 海外親善舞踊公演開始 |
| 平成　２年 | 帯広市体育連盟 功労賞受賞 |
| 平成　３年 | 日本ビクター民踊研究会 貢献賞受賞 |
| 平成１０年 | ＮＰＯ十勝文化会議 十勝文化特別賞受賞 |
| 平成１１年 | 中山民俗舞踊北海道支部が帯広市文化奨励賞を受賞 |